

委員から出された意見

第 11 回 P I 外環沿線会議

外環の必要性について

- ・ 時間価値について、国内でも異なった値を使用している例がある。【提示資料補足説明】
- ・ 効果および費用を算出する際の条件はそろえるべきである。【提示資料補足説明】
- ・ 外環の埼玉区間でなぜ予測を上回る交通量が発生したのかを調査する必要がある。現在の区間も誘発交通を考慮すべき。【提示資料補足説明】
- ・ 二酸化炭素の排出量の算出にあたっては、材料の製造過程、工事車両の影響、誘発交通等を考慮すべき。【提示資料補足説明】
- ・ 外環整備によるヒートアイランド現象への効果、影響を示してほしい。【提示資料補足説明】
- ・ 排出ガス規制が強化された状況で、外環を整備する場合としない場合の大気環境の比較が必要。【提示資料補足説明】
- ・ 時間帯別、車種別の将来交通量を見なければ外環による環境改善効果はわからない。【提示資料補足説明】
- ・ 代替案は現状を十分に分析した上で比較検討すべき。【提示資料補足説明】
- ・ 予測結果をみると効果や影響はわずかで誤解を与えるような記載があるため、必要性の資料をまとめなおす必要がある。【提示資料補足説明】 (江崎委員)
- ・ インターチェンジやジャンクション整備に伴う移転棟数を見直した。【提示資料補足説明】 (山本委員)
- ・ 8 月後半に、依頼した環境調査結果の報告会が設定された。
- ・ 環境影響を考える場合、回避、低減、代償という段階があるが、各段階でどう具現化していけるのかが重要。
- ・ 環境影響の問題を PI 的な手法で検討すべき。環境に関して今の段階で国は住民に何を約束できるのかを明らかにしてほしい。
- ・ トンネル式は地震、火災、地下水等にどれほど信頼があるものなのか。 (栗林委員)
- ・ ジャンクションやインターチェンジ等の工事をする際に、どのような問題があるのか。 (濱本委員)
- ・ 環境への影響については、計画が具体化した段階で、十分に予測、評価した上で説明する。構想段階で具体的な影響を述べることは難しいが、その段階では皆さんにしっかり説明し、意見を聞かせて頂きたい。
- ・ 意 見
・ 工事中の影響に対する対策は、場所や工法で異なる。工法が決定した段階で説明したいが、一般道路には極力迷惑をかけない方法を考えたい。
- ・ シールド構造で地下に構造物をつくる場合、地震時には地盤と一緒に動くのでむしろ安全と考える。詳細な構造は設計の段階で説明したい。
- ・ 道路ネットワークを整備することは、緊急用の避難路、物資を輸送する道路として、防災面にも役立つと考えている。
- ・ 鉄道の時間価値は地域で異なるが、平均値は道路と大きな差はないと認識している。なお、自動車は 1 台あたり、鉄道では 1 人あたりと単位が異なる。
- ・ 費用対効果は、関越道から東名高速の 16 キロを対象に算出している。
- ・ 誘発交通は、現段階の技術レベルで可能な限り考慮している。
- ・ 道路を整備し交通の流れを良くすることで、トータルで見ると環境改善効果があると認識している。
- ・ 排気ガス規制を強化した上で外環がある場合とない場合の大気環境改善効果を示している。騒音は、実際に予測、評価する段階で、時間変動や車種を考慮しなければならないと考えている。
- ・ 必要性の資料には影響や効果を具体的な数値で示している。効果がわずかかどうかという判断はそれぞれの方がどうとらえるかの問題である。 (山本委員)
- ・ 時間価値が鉄道と車でどうして異なるか納得のいく説明がほしい。誘発交通は過去の事例も調べるべき。環境問題はもっと大きな観点でとらえるべき。必要性の資料での大気汚染の説明がわかりにくい。 (江崎委員)
- ・ 資料は分かりやすくということで心がけていきたい。 (山本委員)
- ・ 必要性の資料の「(案)」が抜けたのはなぜか。技術専門委員会で先生方から「(案)」を取るよう言われたから取ったのではないか。PI 会議では取ることを説明していない。 (宿澤委員)
- ・ 必要性の資料を最初に出したときは皆さんと議論するために「(案)」という文字を入れていた。それから議論を重ねて修正していき、「(案)」という文字を取った。その説明は取った際に行っている。 (山本委員)
- ・ 必要性の資料をまとめるなら、部分修正だけでなく、もう 1 度全てを見直す必要がある。 (濱本委員)
- ・ 埋蔵文化財についてのデータが東京都にあるはずなので、沿線の文化財データがほしい。 (武田委員)
- ・ 活断層の資料を頂いたが、他の委員の皆さんにも配ってほしい。 (濱本委員)
- ・ 活断層の資料については考慮する。文化財については調査済みで、箇所等は報告している。 (山本委員)

外環の東名以南区間について

意見

- ・東名以南についてはP I会議で議論されるべきであったのに、それ以前に新聞に出すということは、世論を誘導する情報操作ではないのか。東名以南の議論に制約がかかる。(栗林委員)
- ・東名以南の問題は、新聞に掲載される前に、まずP I会議で話し合うべきであった。(濱本委員)
- ・新聞には外環を世田谷区で止めると渋滞の恐れがあると書かれているが、必要性の資料では東名以南なしでもほとんど変化しないと見込まれており、矛盾しているのではないか。(菱山委員)
- ・今春の新聞記事では、川崎縦貫の2期工事はほとんど不可能という記事が出たが、どうして川崎縦貫と一本化という話しになるのか。(栗林委員)
- ・P I会議の区切りをつける際に、改めて東名以南について国がどう考えているのかを伝えようと考えていた。今回、事前にどこかで発表したということはない。
- ・P I会議は非常に重要な場だと認識しており、この場で意見を頂けたらという心づもりでいた。
- ・外環は1周完成して初めて機能するので、東名以南の必要性は十分に認識している。
- ・多摩川をまたいで1本づつ高速道路を整備することは厳しいという意見もあり、川崎縦貫との一本化も選択肢の1つとして検討していくことを考えている。
- ・世田谷区の交通は現状よりは悪化しないと考える。しかし、現状でも厳しい状況であり、抜本的に改善するためにも東名以南の整備が必要と考える。(山本委員)
- ・役所だけで検討をし、発表することが問題である。事前に地元の自治体や住民代表と話し合ってから発表すべき。(新委員)
- ・本来的には、必要性の議論に区切りをつけた上で東名以南の議論をすべきであった。(栗林委員)
- ・新聞での公表がP I会議より先になったのは、今回で3度目である。外部から新しいニュースが聞こえてくるのが残念である。(秋山委員)
- ・新聞社が出し抜くことはよくある。ただ、どういう経緯で掲載されたのか知りたい。(武田委員)
- ・今朝の新聞には私も驚かされた。どこでどう情報が漏れたのかはわからない。(山本委員)
- ・P I会議の場で発表する気であれば、どうして会議の冒頭で国から陳謝しなかったのか。(新委員)
- ・冒頭から事情を説明すべきであった。(山本委員)
- ・意図せずして、今朝の記事が掲載された。信頼関係を失わないよう努力したい。(山内委員)
- ・新聞記事は、細かいところを見ればいくつか事実と異なるところがある。
- ・東名以南の検討には様々なケースが考えられるが、国が全てを決めるのではなく、自治体や住民の皆さんの意見を聞きながら検討していきたい。
- ・外環(関越~東名)の方向性が出た暁には、東名以南について調整していくと認識している。(山本委員)
- ・新聞には「アクアラインと東名を結び川崎縦貫」とあり、一本化するというこの記事内容は誤報か間違いはないのか。(武田委員)
- ・川崎縦貫との一本化は1つの選択肢にすぎない。(山本委員)
- ・世田谷区は東名以南の検討を進めることには歓迎するが、情報の出し方は残念に思う。(板垣委員)
- ・東名以南の問題に関して、国が再度この問題を整理する必要がある。(平野委員)
- ・新聞記事をみると、国土交通省のコメントは、関越~東名間を整備しやすくするように国民をなだめるための文章にみえる。(橋本委員)
- ・東名以南も検討することを前提に、現在の必要性を議論してほしいという主旨である。(山本委員)
- ・東名以南も検討するというのを、必要性の資料の中に入れるべきである。(濱本委員)
- ・国の外環の責任者は誰なのか。責任者に対して文句を言いたい。
- ・東名以南はルートを含めて検討されるのに、現在の区間はルートが決まったかのごとく議論しており、行政のやり方が非常に不明朗である。(新委員)
- ・東名以南が整備されると本線交通量は増える。本当に世田谷区的环境がよくなるのか疑問。(江崎委員)
- ・必要性の議論が終わっていないのに東名以南について発表されたことが問題である。交通量がどうこうという話しではない。(栗林委員)
- ・東名以南に関して国の責任ある見解を聞きたい。(武田委員)
- ・一度持ち帰り、対応させていただきたい。(山内委員)
- ・無理して東名以南をアクアラインまでつなぐ必要はないのではないかと。(秋山委員)
- ・東名以南の整理がつかないと必要性の取りまとめの議論にならない。(平野委員)
- ・東名以南の結論を出さないと先の話はできない。(渡辺委員)

オープンハウスと意見を聴く会について

- 意見
- ・武蔵野市の意見を聴く会の議事録の訂正は行ったのか。(濱本委員)
 - ・都市計画の変更・廃止についての都のコメントは修正した。(事務局)

その他

- ・オオタカの営業の可能性があり、追加調査を行うことを報告する。(山本委員)